

2年 2組 6班の活動報告です。

長村礼菜 下浦瑞夏 林友佳里 山田麗 吉田みなみ

## ◇ 研究テーマ「認知症高齢者への対応」

認知症とは、脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいう。症状としては記憶障害や見当識障害、理解力、判断力の低下があります。

【関連するSDGs (アイコン)】



## ◇ 実践したこと (フィールドワークなどで調べて分かったこと)

夏休みに関市役所の高齢福祉課の方に関市の現状と、関市が行っている対策について話を聞きました。

- ・関市の現在の高齢化社会、認知症の割合について。
- ・見守りシールについて。
- ・認知症カフェについて。
- ・認知症サポーター養成講座について。

## ◇ 提案

私たちができる支援

- ・まずは見守る
- ・余裕を持って対応する
- ・前から一人で声をかける
- ・相手に視線を合わせて穏やかにはっきりと話す
- ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくりと対応する

## ◇ 活動を通じて考えたこと

- ・高校生の私にもできることがあるのだと分かった。
- ・認知症の方の命を救ったり、周りの人の不安を取り除いたりするために、まずは支援の仕方を知っていることが大切だと思った。
- ・認知症サポーター養成講座を受けて、だれでも簡単にYouTubeで知ることができると分かった。
- ・見守りシールの存在を知って、高齢者の方とのかかわり方を考えるようになった。
- ・認知症の方でも気軽に参加できる施設があることで、認知症の方が生きる理由と自信をつけられると思った。